



とうえい

NO. 205



年賀状

東栄町長

原田 嘉美

清らかな流れの中で新春を迎えたふるさと東栄。(写真は煮淵から上流を望む)

あけましておめでとー

ございます

年頭にあたり心を新たに次の行政上の抱負を申し述べます。

◆ 豊かさ(生産)へのアタック

○ 農村総合整備モデル事業の推進実施

○ 農業・林業構造改善事業の継続推進

○ 国道一五二号線、県道未改良四路線をはじめ道路整備

◆ 公平(格差是正)へのチャレンジ

○ 水資源涵養地帯の活路(水源基金構想を中心に)

○ 話し合い集会所の充実(まだ何地域か必要)

◆ 生きがい(生活)へのジャンプ

○ 教育文化施設の実現(長期計画で)

○ 身心障害施設(第二はなのき寮)の建設(三輪中跡)

○ 医療態勢の強化(内容整備、従事者確保)

○ 飲料水供給施設の普遍化(中央簡水に引き続き)

○ 青年の定着、老人の生きがい、婦人の立場、子どもへの愛情対策等みなさんの求められる行政需要は一層多様化し、また期待されることは大きいので、その期待にこたえるための企画方途についてみなさんの創意と自主性と責任に基づく新しい生活と生産の場を広く求める行政運営を図りたいと思います。

1月号

人口と世帯

12月1日現在

()内は前年比

人口 6,829人(-135)

男 3,265人(-61)

女 3,564人(-74)

世帯数 1,836戸(-18)

(住民基本台帳+外国人登録)

年頭のごとは

住みよい町づくりは 生活基盤の確立から

東栄町議会議長

三 高 宏



あけましておめでとーございま
す。
輝かしい新春を迎えみなさまが
たのご健勝を心からお祝い申し上
げますとともに、昨年は温かいご
指導のもとに大過なく重責をつと
めさせていただきましたことを心
から厚くお礼申し上げます。
社会情勢はご承知のとおりです
ます激しく揺れ動き、昭和五十一年
はまさに文字通り激動の年であ
りました。こうした中であつて、

東栄町はまずまずの一年であつた
ように思います。年度初めに計画
いたしました東栄中学校屋内運動
場、中央簡易水道の建設を始め諸
事業が計画に従つて順調に進捗い
たしておりますことは、まことに
ご同慶に堪えないところでありま
す。

迎えました昭和五十二年は、昨
年末の衆議院議員選挙の結果にも
見られますように、中央政界は保
革伯仲、中道を志向する政治路線
の選択が顕著になり、経済界はこ
こ数年来の低迷状態から脱し得な
い状況にあり、全般的に混迷する
世相はなお持続するものと考えら
れます。
こうした社会環境に対応するた
めには、今年こそほんとうに郷土
の生活基盤確立を急ぐ時ではない
かと思ひます。産業基盤の確立、
道路網の整備、福祉の充実、教育
の振興、生活環境の整備等、行政
需要は非常に多様化・複雑化して
おり、これに対処する自治体の運
営も非常に厳しいものが予想され
ますが、こうした時機に際して、
私たちは今一度原点に戻つて町の
現況をチェックしてみる必要にせ

まられております。そうした中で
特に農村における経済環境の改善
はどうあるべきかという命題に対
して真剣に取り組むべき時である
と思ひます。住みよい町づくりは生
活の基盤の確立なくしては考えら
れないからであります。
単的に申し上げて、住民の所得
向上が今後の最も大きな課題であ
ります。東栄町に与えられた地理
的条件からその可能性をいかにし

心豊かで住みよい 愛知の建設を

県民のみなさま、あけましてお
めでとーございませう。
すがすがしい昭和五十二年の新
春を迎え心からお喜び申し上げます。
す。



愛知県知事

仲谷 義明

で見出すかでありませう。行政も従
つて、その索引的役割を果たすべ
く転換を迫られております。
私たちは議員として研鑽に努め
認識を深め、自治行政に対応する
議会人としての使命感に徹し、議
会の立場において町勢進展に寄与
してゆく所存でございます。
新春を迎えるにあたり、各位の
ご多幸を祈念いたしましてご祝辞
といたします。

昨年は政治的にも経済的にも不
安定な要因が多く、流動的で新し
い方向の模索にけんめいな年であ
り、資源・エネルギーの限界、環
境の制約などの中であらためて人
類の明日が考えなされる、地域社
会に密着した福祉型経済やサービ
ス型経済の展開へ思い切った転
換が要求され、新しい価値感が求
められた年でありました。
新しい愛知県づくりにおきまし
ては、社会経済構造の大きな変化
の中でややもすると見失いがちな
こうした時代こそ二十一世紀への
長期的展望に立ち、県民のみなさ
まから寄せられました数多くのご
意見を取り入れまして、一人ひと
りが生きがいと希望をもって生活
できる住みよい愛知県づくりの計
画を進めてまいりました。
ここに迎えました昭和五十二年

は恵まれた自然を背景に、先人の
多年にわたる努力により培われ
た豊かさを礎に、中部圏内の各県
とのきずなをたいせつにし新しい
愛知県づくりの計画を財政運営の
指針とし、県民のみなさんにより
一層信頼される清潔な、そして正
直な県政を力強く推進したいと考
えております。中でも本年は県民
のいのちと暮らしを守るための施
策に重点を置き、災害の防止対策
を進めるとともに安定した生活環
境を築くための物価対策など県政
の重点施策を見定め積極的に進め
二十一世紀からの評価にもたえう
る県政にしたいと考えておりま
す。そのためには、地域からの発
想を生かしたけれどもが自由に参
加できるくま座の県政をモット
ーに県民のみなさまとともに考え
るともに行動し、心豊かで住みよ
い愛知県を築きたいと考えているの
であります。

昭和五十二年の年頭にあたり、
県民のみなさまの県政に対する積
極的なご参加とご協力をお願い申
し上げますとともに、みなさまが
たのご多幸を心からお祈り申し上
げます。

火の用心！
火災は人災
防ぐはあなた

愛知県議会議員

竹下喜兵衛



あけましておめでとうござい
す。輝かしい昭和五十二年の新春を
迎え、みなさまのご健勝を心より
お祝い申し上げますとともに、平
素よりご理解ご支援を賜りまし
てここに深く感謝申し上げます。
県におきましての昨年はいろい
ろとありましたが、石油ショック
以来きびしいわが国の経済状況下
のありを受けおりましたが、県
民みなさまの英知とご協力、県
内産業の逞しい努力により県財
政は交付団体になったとは言え、
期首の方向の望みを期待し得るよ
うになったと思えます。
何んといましても昨年末の衆
議院選の結果であります。保革伯
仲する政局の今後が、みなさんの
英知とご努力で安定成長を続けて
まいりました地方公共団体をは

め諸団体の今後の発展に支障なき
を期待いたすところであります。
みなさまの温かいご支援ご指導
をいただきまして県政に参画して
まいりました私といたしましては
きわめて微力ではありますが、こ
の新春を迎えるにあたりまして、
わが生まれた里に住むことのでき
しさを味あうことのできる郷土づ

あけましておめでとうござい
す。

みなみなさまにはご家族ともど
もすこやかに新しい年をお迎えに
なられたことと拝察し、謹んでお
喜び申し上げます。

私も昨年四月に設楽事務所長を
拝命いたし、北設の地での始めて
の新春を迎え、豊かな大自然の中
明ゆく新春の空を仰ぎ見て感銘ひ
とおでございました。
昨年は高度成長から低成長への

設楽事務所長

安藤 邦朗



くりに一層の情熱をかたむけ、東
栄町のよき町づくりの機微に全力
を傾注してまいりたい決意であり
ます。何卒一層のご鞭撻とご指導
をお願い申し上げます。
ここに東栄町のいよいよのご発
展と町内みなみなさまのご多幸を
心よりお祈り申し上げますご祝
辞といたします。

移行という過程の中で、地方自治
体にとりましてはかなり苦難の年
でありました。とりわけ財政事情
はまことに芳しからず、年々多様
化する県民のみなさまがたのご要
望に対応するため財源確保に苦慮
したしだいでありますが、今年も
この傾向は続くものと予想されて
おりますし、さらに昨年末に執行
された衆議院議員総選挙の結果か
ら見て、今後の政局は一大転換期
を向えつつあることがひしひしと
感じられます。

こうした政局、経済事情の下、
新しい昭和五十二年を迎えるにあ
たり、私たちは豊かな自然に恵ま
れた美しい郷土の発展・繁栄のた
めに一層の努力と英知をかたむけ
なければなりません。私もみなさ
まがたのご指導、ご援助を賜りな
がら、町村とみなさまと一体にな
って住みよい愛知建設のために微
力をささげ、けんめいの努力をい
たしたいと覚悟を新たにしてお
ります。

各位の一層のご健康とご活躍を
お祈りし所感の一端を申し上げます
年頭のごあいさつといたします。



設楽警察署長

大嶋 春人

東栄町のみなさま、あけまして
おめでとうござい
す。さわやかな昭和五十二年の年頭
にあたり、みなさまご家族おそろ
いで希望に満ちた新年を迎えられ
たことと拝察し、心からお喜び申
上げます。

昨年は依然変わりにない経済不況
のもとで社会情勢も非常に厳しい
ものがありました。みなさまの
力強いご支援をいただき、当署管
内の治安につきましては幸い平穏
に過ごすことができました。これ
もひとえにみなさまのご協力の賜
ものと厚くお礼を申し上げます。
本年もみなさまの「安全で平穏
な生活」を守るために、署員一同
決意を新たに精進いたしま
す。特に、各種犯罪の予防と早期
解決、少年の非行防止、交通事故
の防止につきましては格別の努力
を払いたいと考えております。ま

※※季節の話題※※

おもち

もちが日本人にいつごろから食
べられるようになったのか、はっ
きりしたことはわかりませんが、
円満を象徴する望月の望との説が
あります。また古代の鏡になぞら
えて「かがみもち」というのも共
に丸く収まる願いが込められてい
るようです。

お雑煮

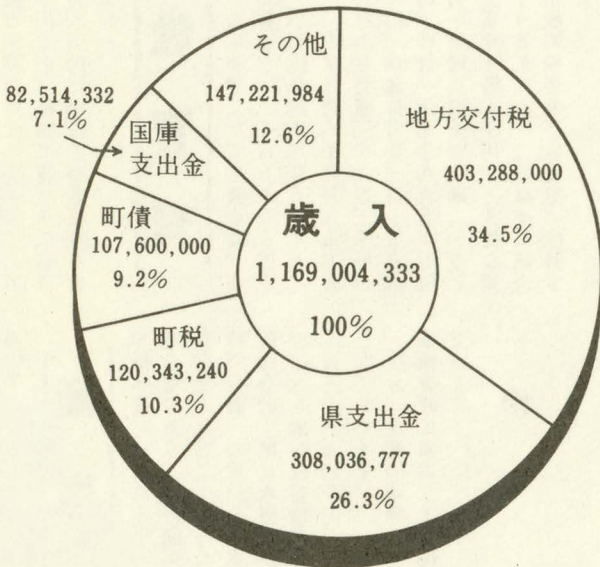
江戸時代の書物によると昔の雑
煮の具はきちんと決まっていた、
おわんに盛る時も底からサトイモ
もち、花カツオ、青菜、ダイコン
干しナマコ、干しアワビの順に盛
ったといわれています。

ところが変われば品変わるとい
いますが、岩手県の雑煮はダイコン
ニンジン、ゴボウが副材料。煮干
し、サケの切り身、鶏肉などでダ
シを取りしうゆで味つけして角
もちを入れ、盛る時にくるみをす
ってジャムのようにしたものをの
せます。まことに野趣豊かなもの
です。

歳入

自主財源 20.4%
依存財源 79.6%

その主なものは、他の収入は増加していません。

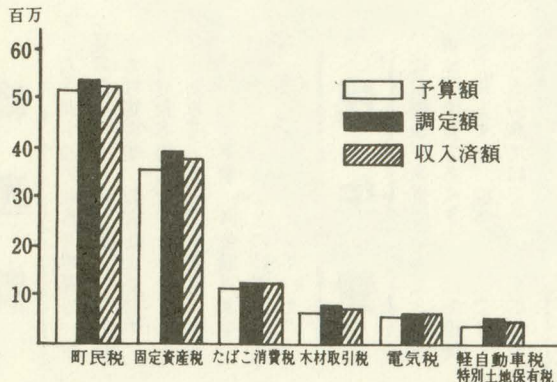


一般会計 三千二百万円余繰越す

経理面で健全な基調を堅持

町議会定例会が十二月七日より十四日までの八日間開催され、昭和五十年年度の一般会計決算をはじめ各特別会計決算の認定を中心に審議され、それぞれ原案どおり可決されました。このうち一般会計の決算額は、歳入が十一億六千九百四十四千円、歳出では十一億三千五百二十五万九千円、差引三千三百二十九万五千四百九十九円となり、繰越すこととなりました。この日認定された一般会計決算の概要は次のとおりです。

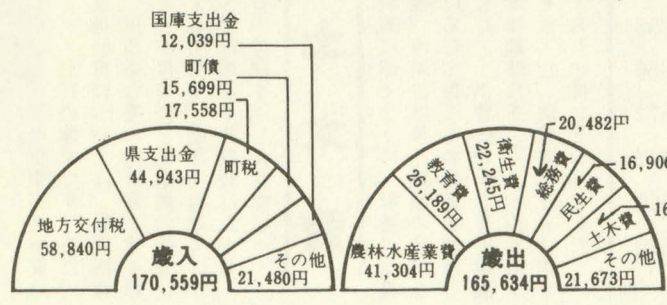
一般会計 方交付税四億三千二百二十八万八千円 (同三十三・四割)、町税一億二千九百六十九万四千円 (総額対比三十四・五割)、国庫 三十四万三千円 (同十・三割)、支出金 三億九千九百五十五万一千円 町債一億七千六百六十六万六千円 (同九・二割)



町税収納成績

歳入財源としては、地方交付税・国・県支出金、町債等依存財源が七十九・六割、町税をはじめとする自主財源が二十・四割という割合が示すとおり、町財政はやはり依存財源が主体となっています。このうち交付税は、前年度対比五・九割増(二千二百五十三万八千円)で、過去三カ年平均三十一割に比べ低率でありました。国庫支出金は統合中学校校舎建設完了に伴い大幅な減となっていますが、県支出金では農業構造改善事業、団体営農道整備事業など各種農林業の振興事業と、本郷下川

中住民1人当たり額(一般会計)中



農免線の舗装をはじめとする土木関係事業、コミュニティ施策による生活道路の整備など数多くの補助事業を実施したほか、東栄病院のへき地医療事業関係費を含め、前年対比で八十六・九割の増となっています。事業別では、農林三十割、土木三五・三割、教育九・三割、その他六・六割であります。次に町税の収納状況は別グラフのとおりですが、その実績では、前年度対比五・三割(六百三十五千円)の伸び、徴収率においては現年課税分九十九割、滞納繰越分四十五・七割となっています。

歳出については、総額十一億三千五百二十五万九千円で、前年度対比では〇・一四割の増でありま
す。これを款別に主なものをあげ
ますと、

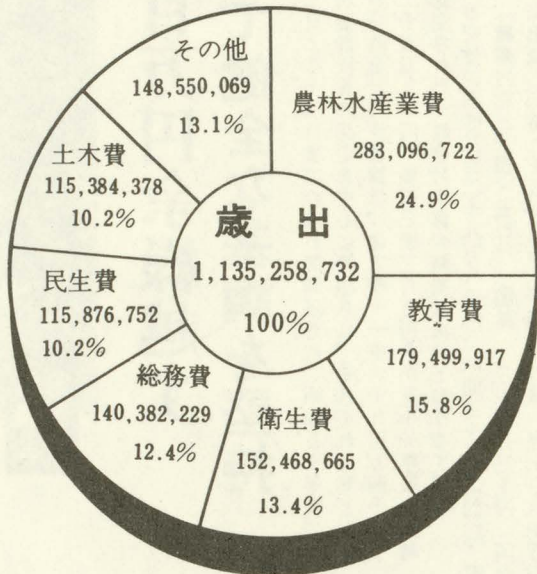
出

建設的
事業費 4億32,000,000円

歳

農林水産業費

前年度対比では三十二・六割の増加となり、農業費として農業構造改善事業、山間地営農等振興事業、地方振興事業、山村地域農林漁業特別対策事業で一億五千九十一万円、農地費は団体営農道整備事業を中心とする農道改良整備事業費で一億三千七百二十万三千円、林業費では林分改良開発事業、林



50年度土木費における実施事業

事業名	事業区分	事業費 (千円)
◇振興山村交通施策事業		9,000
本郷足込線改良	国 補	9,000
◇市町村土木費補助事業		17,086
上粟代日蔭線舗装	県 補	3,093
本郷下川農免線舗装	"	7,979
西菌目坪沢線舗装	"	3,450
突貫沢改修	"	2,564
◇コミュニティ施設整備事業	県 補	16,285
◇道路改良工事		17,856
城山線外6件	町 単	17,856
◇道路舗装測溝整備事業		16,877
小林梨沢線外7件	町 単	16,877
◇道路交通安全対策費		3,000
ロックネット設置外5件	町 単	3,000

教育費

教育総務費(教育委員会費、事務局費など)二千五百五十八万四千円、小学校費四千八百五十九万二千円、中学校費六千九百八十五万五千円、社会教育費三千六百三十一万五千円、保健体育費三百五十五万八千円、合計一億七千九百五十五万八千三百七十七円(一億七千三百七十七万七千円)と大幅な減となりましたが、これは主に統合中学校の校舎及び給食室の建設工

道節沢線開設等で一千六百十七万五千円など、総額二億五千二百八十万八千円にのぼる事業投資を行いました。

衛生費

前年度対比で八十七・五割と大幅な増であり、北設衛生処理組合負担金(九百二十三万九千円)と特別会計への繰出金(東栄病院会国保会計、簡易水道関係)などで特にへき地医療整備事業関係費五千三百三十三万四千円が大きな伸びとなっております。
なお、投資的経費として御殿診療所改修工事百五十万円を支出しています。

事完了によるものです。

総務費

人件費を始め財産管理費等一般経常費が主で、事業費として過疎バス対策事業、公害防止焼却炉、庁用自動車購入など合わせて二千二百五万円、また、選挙費のうち参議院補欠選挙、県会議員選挙、町会議員選挙費などの経費三百九十一万四千円が含まれています。

民生費

社会福祉、児童福祉を主とする福祉関係費であります。社会福祉費で見ますと、前年度対比では十二・五割増でほとんど義務的経費

土木費

別表に示すように、町道の改良舗装、河川改修等、地域の状況などに応じて数多くの事業を推進しました。土木費にかかる普通建設事業総額は八千二百五十四万六千円を投入し、前年度対比では四十三・九割の伸びとなりました。

であり、老人医療費等の扶助費は二十一・七割の伸率です。また、児童福祉費については、乳児医療費、児童手当等の扶助費を除きほとんどが保育園と児童館の運営に要するもので、前年度対比では十五・二割の増で扶助費は二十七・七割の伸びを示しました。

学校訪問

(8) 奈根小学校

(校訓)ひとりだちのできる子 全児童数 88名

明治六年長泉寺を仮校舎として開放され、以来百有余年村の文化人づくりの中核となり今日に至っている。現校舎は大正十三年の建築で危険校舎に認定され、目下新築準備計画中である。

① 学校づくりのかまえ

(1) 肌と肌でぶつかる教育
心の触れ合いをたいせつにしな

がら、みんなでいたわり励まし合う人間尊重の原点にたつて学校づくりを全校ぐるみで行っている。
(2) 生きがいのある学校
「学校はこどもによって作られ改善される」ことを共通理解し、師弟一如、PTAと手をつなぎ人づくりをめざしている。

体力づくりの輪を広めようと親子でがんばるなわとび(奈根小運動場で)



(3) 学校は家庭の理解と信頼によって支えられ、家庭は親子の結びつきによって成り立っている。

② ひとりだちへの手だて

(1) ひとり学習
こどもの主体的な思考活動の盛り上がりや授業実践によって確かめ、学び方を個々の能力に応じてひとりひとりに定着させる。
(2) ぐらしにめあてを
めあてをもつて考え行動し、自分をみつめ他をみつめ自分を集団の中で磨き高めさせる。
(3) ふるさとに学ぶ
ふるさととは人間形成の根底をなすものである。恵まれた自然とたたかい親しみそれを開発利用して

生きぬいてきた先人の尊い努力・足跡・生き方をこどもたちの眼でじかに触れ体験させてこどもの生涯の心の灯とさせる。
③ ひとりだちへの
はたらきかけ
(1) わからない算数からわかる算数へ
こどものつまづきをさぐり興味関心を高め、探究心をゆさぶるような学習の場、考えを進める手順問題を解し鍵となる考えの三つに視点をしぼり、こどもの発想を誘発し考えのよりどころを発見させその考えを統合発展させ、先述の

ひとり学習を到達目標において実践を進めている。(昨春秋の研究発表から)
(2) 奈根っ子
奈根っ子たちの夢と一カ年の成長ぶりをつづる文集「奈根っ子」を発刊し、生涯の心のかたとなり思い出となることを願っている。
(3) たくましい体力づくり
⑦ 親子で手をつなぐラジオ体操
夏休みに九つこの部落に分けて親子ぐるみで早起会をし、全期間実施して父兄の関心を高めている。
⑧ なわとび
十二月から三月にかけて耐寒訓練

一月十五日は「成人の日」 本年も青年の家で開催 二十歳の若者を心から祝福

一月十五日は「成人の日」。おとなになったことを自覚し、自ら生きぬこうとする青年を祝い励ます国民の祝日です。
東栄町においてもこの趣旨にそつて、この成人の日には新しく二十歳になった若人たちを「青年の家」に招いて意義あるそして壮厳な成人式を行い、町民ごぞつて国旗を掲げ心から祝福するよう計画しています。
ことし成人式を迎えるのは、昭和三十一年四月二日(昭和三十三年四月一日までに生まれたかたちで、参加者は十二月十日の参加届のしめ切りまで)は、男四十六名、女六十七名のあわせて百十三

新入学児童生徒をお持ちの父兄へ

「就学通知が届いてますか？」

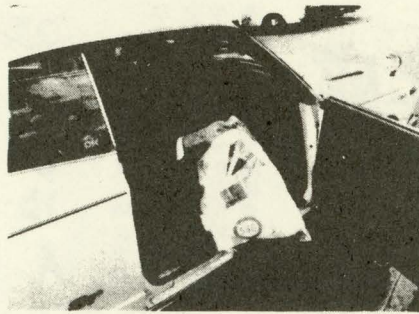
東栄町教育委員会では、今年四月一日に小・中学校へ入学する学令児童生徒の保護者に対して、昨

の手段として、親子とびのしおりを家庭にくばり学校から家庭へ体力づくりの輪を広めている。
⑨ マラソン大会
PTAが中心となり全児童参加し気合がかかっている。自己の記録更新にいとむ健気なる姿は将来の飛躍を象徴している。
⑩ 親子山のぼり
文化祭の日を選び学年別にコースを決め親子で歩け運動を練り広げ、副読本で得た予備知識をもとにふるさとの実地踏査を行った。親子の触れ合いのなごやかな情景に出合い心暖まる思いであった。

年十二月下旬に就学通知を送りました。まだ就学通知が届いていないところがありましたら教育委員会へご連絡ください。
なお、住民登録がないと通知もありませんのでご承知おきください。
該当者は次のとおりです。
◎ 小学校へ入学する学令児童
昭和四十五年四月二日から昭和四十六年四月一日までに生まれたもの
◎ 中学校へ入学する学令生徒
昭和三十九年四月二日から昭和四十年四月一日までに生まれたもの

「もうすぐ三学期」
お正月でゆるんだ
ネジを締めなおし
さあ、がんばろう！

外出した際は必ずこのように袋に入れて持ち帰りましょう



『530運動』開始

奥三河ロータリークラブ提唱

みんなの力で街を美しくしよう

新聞等でご承知のとおり、街から「ゴミ」を開放しようという運動が各地で展開され、相当な効果が上げられておりますが、このほどまだまだ徹底されていない「ゴミ」に対する住民の関心を深めるために、奥三河地域の全域に「530運動」が奥三河ロータリークラブから提唱されました。

この運動は、「街角、公園、河川、路上等に安易にゴミを捨てない」ということから、530運動を推進することにより、生活環境をより一層良くしようという趣旨によるものです。

投票率八十・八パーセント

前回同選挙より三割弱減

衆議院 総選挙 もう一歩盛上がり欠く

十一月十五日の公示を皮切りに二十一日間にわたって全国すみずみまで展開された衆議院議員総選挙は、十二月五日の投票日をピークにその決着がつけられました。愛知県第五区の結果についてはすでにご承知のことと思いますが、東栄町内の投票状況をお知らせしますと――

衆院選の投票成績

投票所名	当日の有権者数 人	投票者 人	投票率 %	順位
柿野	162	145	89.51	2
設楽	367	290	79.02	13
布川	101	84	83.17	5
月	368	253	82.14	9
本郷	1,101	860	78.11	15
三ツ瀬	127	103	81.10	12
市場	407	334	82.06	11
下田	329	273	82.98	6
川角	98	87	88.78	3
足込	209	171	81.82	10
御園	210	164	78.10	16
東園	99	75	75.76	17
西園	112	88	78.57	14
渡瀬	65	47	72.31	19
畑	284	244	85.92	4
市深	147	136	92.52	1
奈根	233	193	82.83	7
粟代	336	277	82.44	8
小林	132	95	71.97	20
古戸	336	251	74.70	
計	5,163	4,170	80.77	

各自で処理をしてください。

なお、ゴミを郡の処理場に出す場合は、必ず処理組合の規定の袋に入れ換えて指定の場所に出してください。

一人一人がこの運動に関心を持ち、今日から進んで街からゴミを開放しようではありませんか。

産業会館を 利用されるかたに

使用前に
必ず申し込みを!

一般住民の研修・集会の場として多くのかたに利用されております産業会館の二階・三階の各室の使用につきましては、大いに利用されることはよろしいのですが、利用される前の申し込みについては

戸籍の窓口

（十一月受付分）

よろこび
出生児 保護者 住所
力田 研二 正 中設楽
伊藤 幸康 信之
一野 瀬裕美 忠義 振草
山本 昭徳 典式 下田
かなし
氏名年齢 世帯主 住所
伊藤 昭徳(87) 満 下田
山本 昭徳(0) 文緒 下田

通話料七円から十円に(三分間) 十一月十七日から改定!

このほど、公衆電気通信法等の一部が改正され十一月十七日から電報電話の料金が改定されました。おもな改定内容は次のとおりです。

① 電話基本料
別表のとおり。(ただし、自動局のみ)

② 通話料
ダイヤル通話料は一度数七円から十円に改正されました。したがって、北設楽郡内のダイヤル通話料は三分間七円が十円になりました。

③ 電報料
◎ 通常電報料は二十五字まで三三〇円、追加五字までごとに四十円となりました。(お祝い電報、お悔

た。

◎ 公衆電話からの近距離へのダイヤル通話料は、一度数十円で変わりありません。ただし、二十秒を越える地域へのダイヤル通話料でかけられる秒数は少し短くなり加入電話と同じ秒数になりました。

◎ 交換手扱いの通話料はダイヤル通話料に準じて改定されました。

◎ 特別措置
住宅用の電話のうち、一カ月の利用度数が六十度以下の場合、その月のダイヤル通話料は従来どおり一度数七円に据え置きます。この特別措置は昭和五十二年三月末までです。(設楽電報電話局)

み電報は二十五字まで四百五十円追加五字までごとに六十円です。

◎ お祝い電報、お悔み電報は、「配達日指定電報」として配達日の三日以前にお打ちになると、百五十円引きされます。

④ 電話架設費
電話架設の際にお支払いいただく設備料は、単独電話の場合五万円から八万円に改定されました。(電信電話債券の払込額は変わりありません)

◎ 特別措置
住宅用の電話のうち、一カ月の利用度数が六十度以下の場合、その月のダイヤル通話料は従来どおり一度数七円に据え置きます。この特別措置は昭和五十二年三月末までです。(設楽電報電話局)

「中日スケート教室」

とき 昭和52年1月8日(土)
午後2時～4時
ところ 東栄スケート場
受講料 無料(滑走料は各自負担)

「東栄町スケート教室」

とき 昭和52年1月8日(土)
午後6時30分～8時30分
昭和52年1月9日(日)
午前9時～12時
ところ 東栄スケート場
受講料 無料(滑走料は各自負担)

新基本料金表 (自動局のみ)

電話の種類	円	
	事務用	住宅用
単独	(1,270) 17,00	(900) 1,200
共同	(820) 1,100	(580) 750

昭和52年3月末までは()内の料金です。

母親教室 妊婦検診

◎日時
一月二十日(木)
午後一時半～二時半 母親教室
午後二時半～四時 妊婦検診

壺ふるさと歌壇 互選首

〈十一月詠草歌〉第一七七回

八ツ手葉を打ちて時雨の過ぎゆけばいよ、よ寂けし山の夕ぐれ
 師の歌碑のほとりの草を取りみれば淋しくゆるるつわ露の黄
 灯のぬくもり無し夕闇に追はれて急ぐ北風の町
 秋たけて枝もたわわなる柿の実が朝の陽射に輝き映わる
 稔り日の一筋道を編笠の雲水が行く夕陽背に受け
 花ながら切りおとされし木屋の金の小花に小蜂群れいる
 針毎に如何なる想いを縫い秘めしや古りて艶なる桃山の小袖
 左寄りのくせありし馬の鉄沓が片減りのまま小屋に残れる
 (桃山文化展を見て)

梅田 トシ
 岡田 つぎ
 金指 節子
 石原 暎子
 村松 治代
 福田 幸代
 原田 れい
 村井 道弘

◎乳児検診

◎日時

一月二十七日(木)
午後一時～三時
保健センター
◎対象
昭和五十一年一月、三月、五月、七月、九月、十一月生まれのお子さん
◎費用 無料
◎持参するもの
母子手帳
当日会場でも母子手帳を発行しますのでご利用ください。

◎日時
当日昭和五十一年一月と十一月生まれのお子さんをお持ちのおかあさんの簡単な検診(検尿、血圧貧血)を実施します。